

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

国立大学法人横浜国立大学学長予定者の決定について

横浜国立大学学長選考会議は、10月21日に学長候補者の面接を実施し、その内容に加え、推薦書等、所信表明の会の評価、意向調査の結果を総合的に判断して審議した結果、梅原 出氏（横浜国立大学 理事・副学長）を、「求められる学長像」に掲げる3つの資質能力を十分に備えており、「世界水準の研究大学の実現」を目指すというビジョンを掲げ、大学の将来像と明確な改革の方向性を示し、今後、学長としてのリーダーシップを発揮し全学を一体的に牽引できる者であると認め、同人が次期学長に最も相応しいと判断し、学長予定者に決定しました。

任期は、令和3年4月1日から令和9年3月31日までの6年間です。

経 緯

学長選考規則第7条及び学長選考規則施行細則第3条の規定に基づき、7月9日締切で学長候補者二人の推薦を受け付けました。

7月15日開催の学長選考会議において、推薦者二人ともに、学長選考規則第3条の規定による学長候補者の資格及び本会議で定めた「求められる学長像」に合致すると判断し、学長候補者と決定しました。

学長選考規則第8条及び学長選考規則施行細則第5条の規定に基づき、9月30日に所信表明の会を、また、学長選考規則第8条及び学長選考規則施行細則第6条の規定に基づき、10月5日から7日にかけて教職員の意向調査を行いました。

10月21日開催の学長選考会議において、学長候補者の面接を実施し、その内容に加え、推薦書等、所信表明の会の評価、意向調査の結果を参考に、総合的に判断した結果、梅原 出氏を、次期学長に最も相応しいと判断しました。

同人は、「求められる学長像」に掲げる3つの資質能力を十分に備えており、「世界水準の研究大学の実現」を目指すというビジョンを掲げ、大学の将来像と明確な改革の方向性を示している。学長選考会議は、こうした構想の実現に向けて、同氏が、学長としてのリーダーシップを発揮され、全学を一体的に牽引することを大いに期待します。

なお、任期は、令和3年4月1日から令和9年3月31日です。

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 総務企画部総務企画課長 小此鬼

Tel:045-339-3011, Fax:045-339-3019, e-mail:somu.somu@ynu.ac.jp

横浜国立大学次期学長予定者に 梅原 出 氏が決定しました。



令和2年10月21日の横浜国立大学学長選考会議において、梅原 出 氏が横浜国立大学次期学長予定者に決定しました。任期は令和3年4月1日から6年間です。

梅原 出 (うめはら いずる)
昭和37年10月15日生 (58歳)

■主な経歴

昭和 62年 3月	富山大学理学部 卒業
平成 元年 3月	富山大学大学院理学研究科修士課程 修了
4年 3月	筑波大学大学院工学研究科博士課程 修了
4年 4月	横浜国立大学工学部 教務職員
6年 4月	横浜国立大学工学部 助手
12年 7月	横浜国立大学工学部 助教授
21年10月	横浜国立大学大学院工学研究院 教授
31年 4月	横浜国立大学 理事 (研究・評価担当)・副学長
令和 2年 4月	横浜国立大学 理事 (研究・財務・情報・評価担当)・副学長

■研究分野

固体物性物理学 - 超伝導、磁性

■公的活動

平成28年 4月～現在 公益社団法人 日本工学教育協会 委員

平成31年 4月～現在 公益社団法人 大学基準協会 委員

他

■主な研究業績

- ・「Thermal and Electronic Properties of Rare Earth Compounds at High Pressure (共著)」『Handbook on the Physics and Chemistry of Rare Earths』2012年10月, pp. 1-164。
- ・「高圧技術ハンドブック (共著)」『丸善』2007年1月, pp. 1-438。

他